

だいすき 八幡学区！！ 笑顔あふれる八幡幼稚園 ～地域とともに～

近江八幡市	活動名：八幡幼稚園地域学校協働本部	八幡幼稚園 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☒ その他[参観見学]		

■事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・八幡学区の自然、文化、伝統等のよさを地域の方々子どもや保護者、教師が一緒になって知り地域を大切に思う子どもの育成をめざすためには、どのような取組を進めていくとよいか。取組や内容、人材確保について協議する。
- ・園児数が減少してきているので歯止めをかけるために幼稚園のよさをどのようにPRして園児数の確保に努めるかを協議する。
- ・令和7年度創立120周年を迎えるにあたり、地域に愛され続ける幼稚園であることをPRするために、どのような催しをするとよいか協議する。

■地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・絵本の読み聞かせ
毎月各学年1～2回、絵本の読み聞かせを実施。傷んだ絵本の修繕、絵本の整理。
- ・遠足、散歩への引率・地域行事への参加
地域への散歩や遠足の引率・地域の伝統行事(左義長や太鼓祭り等)の山車や太鼓を見学したり話を聞いたりする。松明づくりへの参加。
- ・園庭を開放しての食事会
子どもたちの給食時に合わせて地域の方々と一緒に食事を楽しめる食事会の実施。
- ・園の環境整備
園庭の芝刈りや園庭の除草、花壇や園畑の整備などの実施。
- ・未就園児の託児
研修や保育参観時に保護者が安心して参加できるように未就園児の託児を実施。



【 コミセンさん、ありがとう！ 】

■実施に当たっての工夫

- ・絵本の読み聞かせや環境整備、未就園児の託児等、園内のボランティアだけにとどまらず、地域の方や卒園児の保護者にも声をかけ必要性について周知する。また、活動の様子を情報誌や便りとおして保護者や地域へ発信し関心を高めていく。
- ・子どもたちが地域や地域の伝統行事に関心や親しみがもてるように地域の方と細やかな連携・協議を重ね、機会を保障するとともに、教師も積極的に地域に出向き学べる機会を多くもつ。
- ・子どもたちも地域の方も一緒に楽しみながら園で過ごし、互いに関わり合えるような機会を計画し実施する。

■事業の成果

- ・地域の方やボランティアの方々に関わることで保育内容が豊かになり、地域の方に親しみや感謝の気持ちをもつことができた。また、自分たちが大切に思われていることを実感することができた。
- ・地域の方と一緒に散歩に出かけたり、地域の伝統行事に参加したりすることで、地域のよさを知り、興味や関心を高めることができた。子どもたちから「〇〇に行ったな」という声が聞かれたり、保護者と一緒に出かけたりする姿も見られた。



【 地域のお店へお買い物！ 】

■事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・一部のボランティアが重複して活動に参加しているため、活動への興味や関心を高め増員を図り継続していきたい。その為に、ボランティア同士のネットワークを広げたり活動の様子を情報誌や便りに掲載したりしていく。
- ・地域や地域の方と関わることでできる活動を保育計画に組み入れ実施できてきたので、継続して保育内容を豊かにし、地域に根差した魅力のある園になることをめざしていきたい。

■その他(学校運営協議会との協働等)

- ・八幡学区のよさを活かした活動や事業を計画実施すると共に、八幡幼稚園のよさを地域へPRするための活動や事業の計画実施を学校運営協議会で協議を重ねている。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■園長 ■副園長 ☐地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(副園長)

保護者・地域の方のキラッとを保育の中に・・・

近江八幡市	活動名: 金田幼稚園地域学校協働本部	金田幼稚園 学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度: 平成23年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人(兼務1人) ボランティア登録数: 40人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・参観を毎回行い子どもたちの育ちや学びについて話し合い、共通理解している。
- ・学びに向かう力推進事業の取組の成果について。
- ・保護者ボランティアと活動の様子について。
- ・保護者ニーズや金田学区の課題について、預かり保育の様子について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・週1回の絵本の読み聞かせ活動では、子どもたちは、ボランティアの方に親しみをもち、いろいろな絵本との出会いを楽しみにしている。ボランティアの方の協力を得て絵本室の壁面の装飾や絵本修理等、環境整備を行っている。
- ・更生保護女性会の方と連携し、水遊びの着替えの見守りなどの保育補助や、毎月行う「にっこりタイム」でのふれあいで、こま回しや折り紙などを教えていただき、子どもたちの楽しい時間となっている。参観時の託児では、保護者から感謝の声が聞かれている。
- ・今年度より保護者ボランティアを絵本、託児、畑、環境整備等のジャンルごとに募集したところたくさんの参加があり、地域ボランティアとの交流にもつながっている。焼いもの日には地域の方や消防団の方にも見守りをお願いした。



【 さつまいもの苗植え 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・園が必要としている支援にボランティアの方の得意分野を生かしていただけるよう呼びかけている。
- ・園周辺の除草や葉刈り、芝刈り、絵本の修繕は、園児がいない時間や場で活動していただくことが多い。たくさんの地域の方にお世話になっていることを機会あるごとに子どもたちに知らせ、感謝の気持ちをもてるようにしている。



【 やきいもパーティ 】

■ 事業の成果

- ・地域の方々との温かなふれあいや地域のよさを感じることが子どもたちの豊かな経験につながっている。また、ボランティアの方がやりがいを感じ、楽しく積極的に活動してくださっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域ボランティアの方の高齢化が課題である。今年度は園の保護者のボランティアを募ったところ 24 人の登録があり、それぞれの分野で活動。継続やさらなる参加につながるよう今後も活動内容を知らせたり、登録を呼びかけたりしてより多くの方に関わってもらえるようにしたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・協議会の中で子どもの日常の様子を参観していただくことで、子どもたちの様子や成長の過程を確認することができた。
- ・小学校の学校運営協議会委員を兼ねておられる方もあり、小学校との接続について保育の中で大事にしたいことなどを考える機会も増え、よりよい子どもの育ちについて協議を深めることができた。
- ・幼稚園の応援団として常に見守り支援してくださっていることは、本当にありがたく感じている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒園長 ☒副園長 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(副園長)

自分が好き・人が好き・馬淵が好きな まぶちっこ ～地域の人との関わりをとおして～

近江八幡市	活動名：馬淵こども園地域学校協働本部	馬淵こども園 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに ☒ 印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：27人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに☒印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

地域に開かれたこども園として馬淵こども園の良さを地域に発信していくことが大切。

地域の方との関わりの温かさを知り、地域を大切に思う子どもの育成に向け、活動内容の検討や地域の方の人材発掘・活用について共有していく。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・園の環境整備として、春から秋にかけて週1回園庭の芝生の管理。
- ・月1回、子どもたちへの絵本の読み聞かせ。
- ・登園時のあいさつ運動への参加。
- ・保育参観時の未就園児の託児を実施。保護者の方がじっくり参観できている。
- ・未就園児向け絵本貸し出しのサポート。
- ・地域の未就園児向け遊びの広場の子どもの見守りや保育補助。
- ・園外保育時の交通指導や保育補助。
- ・運動会、焼き芋、秋まつりなど園行事への参加及び運営補助。
- ・栽培活動時の苗の植え付けや種まきなどのサポート。



【 絵本の読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

地域ボランティアの方の得意分野を把握し、いきいきと活動していただけるよう依頼。そうした地域の方々の姿を、子どもたちが感じられるようにした。

絵本の読み聞かせは年間スケジュールを立案し、対象年齢に合わせた絵本の選定をさせていただいた。子どもたちは、毎回楽しみにしており、集中して聞いている。

■ 事業の成果

- ・子どもたちの活動や園内の環境が充実し、安心安全に過ごすことができた。
- ・活動をとおして地域の皆さんとの交流が深まり、子どもたちが名前を覚え親しみをもって呼びかけることが増えた。
- ・子どもたちは、地域の方々の顔や名前を知ることで安心感が増し、親しみをもって関わっている。
- ・地域の方々に園教育や園運営について知っていただく機会となり理解を深めていただけた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・人材の高齢化が進み、人材発掘が課題となっている。
- ・地域向け情報誌の中で活動内容を発信し、新しい人材の募集を呼びかけている。
- ・活動内容においては、地域の方々が参加しやすい内容を考え様々な形で参加していただけるようにしていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・馬淵小学校と隣接しており就学する幼児も多いため、馬淵小学校と合同での学校運営協議会を引き続き開催していく。
- ・地域学校協働活動推進員は、学校運営協議会の委員を兼ねていただき連携を図っている。今後も地域の方々との連携の要となっており、活動を推進していきたい。



【 未就園児の遊びの見守り 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに☒印)

☒園長 ☒副園長 ☐地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(副園長)

心わくわく みんなが輝く 北里幼稚園 ～地域の人とのかかわりを通して～

近江八幡市	活動名：北里幼稚園地域学校協働本部	北里幼稚園 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：21人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・運営協議会の度、運動会・音楽会などの保育参観を行い、保育内容や子どもの姿を実際に見ていただきながら具体的に知らせていくことで地域に根差した幼稚園の在り方や保育の中で大切にしたいことを協議し共通理解した。
- ・さまざまな安全対策について話し合い、安心安全な幼稚園づくりのため意見交流・協議をした。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・近隣の町の老人クラブの方との芋ほり、高齢者の方との交流会、松明や左義長の山車見学などに出かけ地域の方や伝統行事などにふれていく。
- ・クッキング、栽培活動、園外保育での付き添い、伝承遊びなどいろいろな場でボランティアの方に手伝っていただいたり、交流したりした。
- ・絵本の読み聞かせ、紙芝居等の読み聞かせ、英語で遊ぶなどを毎月行い子どももボランティアの方々も互いに親しみを持ち楽しい活動となっている。



【 芋ほりの風景 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・協力いただいているボランティアの方々との対話を大切にし、それぞれの方の子どもたちへの思いや願いが反映した活動であるように考えている。
- またボランティア同士のつながりを大切にし、幼稚園がさまざまな交流の場になることを大切にしている。

■ 事業の成果

- ・さまざまな保育活動の手伝いをしていただくことで、より安全に活動を進められている。またクッキングや栽培活動ではコツや仕方等を教えていただくことで子どもの学びにもつながっている。
- ・さまざまなボランティアの方に関わっていただき『地域の子は地域で育てる』という思いに見守られていることが子どもたちに伝わり、温かい地域のよさを感じている。



【 絵本の読み聞かせ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアの方とのつながりを大切に、今後もいろいろな保育活動の中で子どもたちと関わっていただき活動を広げていきたい。
- ・地域の中にはいろいろな技術や特技を持たれている方や多方面で活躍されている方がおられるので、今後も新たな人材確保に努めていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・ボランティアの方にも協議会委員になっていただき、ボランティアの立場からご意見等をいただいている。また協議員の方に読み聞かせの活動を参観していただくなどして、具体的に活動の内容をお知らせしている。
- ・協議員の方に地域の歴史やいろいろな情報を教えていただき、またボランティアの人材についても地域と園のパイプ役になっていただく等協力していただいている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ☐教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(副園長)

報告書記入者(副園長)

げんき・いきいき・あづちっこ ～つながる・ひろがる・ボランティアの輪～

近江八幡市	活動名： 安土幼稚園地域学校協働本部	安土幼稚園	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成24年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:約60人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・令和6年度の経営管理計画について
- ・目指す子ども像について
- ・子どもたちの様子及び保護者の現状と課題について
- ・地域学校協働本部活動について
- ・子どもたちの遊びの姿について
- ・園評価について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)環境整備

昨年度募集した「芝生ボランティア」も定着し、保育中に芝生を刈っていたいただいている様子を子どもたちに見せることができ、感謝の気持ちをもつことにつながった。また、2学期はじめより、毎週水曜日の朝に「草むしり(自由参加)」をおこない、たくさんの方が毎回ボランティアとして参加してくださった。時間も各自の都合に合わせて10分～30分と負担がなかったことも大きかったと考えられる。おかげで、常に園庭は整備され気持ちの良い環境の中で過ごすことができている。

(2)子どもの見守り・保育補助・託児

4月中旬から、入園当初の3歳児クラスの保育補助や、水遊び時には着替えなどの手助けをしていただいた。地域の方とPTAの方で子どもたちを温かく見守ってくださり、初めての園生活となる3歳児の子どもたちが安心して幼稚園生活を始めることができた。また、年間を通じて参観日の託児にはたくさんの保護者が協力してくださり、互いに交流することができた。

(3)図書ボランティア・おはなし会(愛称:まんまるさん)

まんまるさんのおはなし会(絵本の読み聞かせ)を月に1回、各クラスで実施した。季節や年齢に合わせて絵本を選んでくださり、楽しいひとときとなった。図書ボランティアの方々には、絵本のカバー付けや修繕、プレゼントのしおり作りをしてくださり絵本環境が充実した。また、より絵本に興味をもってもらえるよう、登園時目に触れる場所に季節の絵本を紹介した。

■ 実施に当たっての工夫

地域学校協働活動推進員と連携し、子どもたちにとって楽しい園生活になるようにボランティアの方々のそれぞれ得意な分野で活動していただいた。

■ 事業の成果

参観日に未就園児(弟妹)の託児を行うことで、保護者は安心して園児と関わり園生活にふれることができた、託児の希望者は多く、未就園児にとっていろいろなボランティアの方との関わりもよい経験となった。また、絵本の読み聞かせや環境整備に関する活動も定着し、ボランティアの方々を身近な存在として意識し、関わりを深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

様々なボランティア活動に幅広く参加してくださる方もいるが、関心はあっても今一歩踏みだせない方も多い。登録してもそれぞれのペースでの参加や自由参加でよいことを伝え、楽しく気軽に活動していただけるようアピールしていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会で、園の取組や子どもたちの姿や課題について協議を重ねてきたことで、様々な角度から子どもを見ることができ、「安土の子ども」として同じ目線で見つめ、共有することができた。今後も地域の方々と子どもたちをつなぐために学校運営協議会と連携して事業を進めていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■園長 ■副園長 ■地域連携担当教職員



【 朝の草むしりの様子 】



【 手作りのしおり 】

報告書記入者 (副園長)

” にここに きらきら 武佐っ子” を育む あったかい支援の力

近江八幡市	活動名:武佐こども園地域学校協働本部	武佐こども園 学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成27年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:16人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ☐学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)保育教材作り(布製おもちゃ作り)

布製のおもちゃを中心として、ボタンはめや魚釣りのおもちゃ、エプロン、人形の服や布団、ままごとの食材(くだものやケーキのトッピング)などの制作を行う。園に来て作ってくださる方や自宅で作って持ってきてくださる方がおられた。その際に、子ども達の遊ぶ様子を写真で見てもらったり、遊んでいるときのエピソードを口頭で伝えたりすると共に、子どもたちにも作っていただいたことを伝えるなど、作ってくださった方と子どもたちをつなぐ機会を大切にしたい。また、玄関等に展示を行い保護者の方にも発信することができた。各年齢の保育者とどんなものがあるといいか相談しながら製作してもらうことで保育環境の充実につながった。

(2)栽培活動

サツマイモの苗植えや収穫に向けて、子どもたちが活動しやすいように事前に畑にマルチシートをかけたり、サツマイモを掘りおこしやすいようにツルを伸ばしたりするなど環境を整えていただいた。子どもたちのそばで方法などを教えていただくなど、ふれあいながら一緒に活動を行うことができた。

(3)行事支援

クッキング、やさいもや餅つきなどの行事の補助をしていただく。クッキングでは、子ども達に野菜の切り方を教えてもらったりして安全に活動ができるように見守っていただいた。また、やさいものもみ殻への火の広げ方やもちつきの餅の丸め方など、子どもたちや職員にコツや方法を、長年の経験を元に丁寧に教えていただいた。

(4)あいさつ運動 毎月1日、15日にあいさつ運動を行っている。

(5)絵本タイム 毎月、絵本ボランティアさんによる読み聞かせ。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティア活動を知ってもらうために、保護者向けに通信を発行したり、玄関に展示をしたりするなど、情報発信を行っている。
- ・今年度は、園でおもちゃ作りをしてもらうことができた。作りながら、子どもが手作りおもちゃで遊んでいる様子などをゆっくりと伝えることもでき、喜んでもらえた。また、自宅での作成を希望される方には材料を届けるなどし、それぞれの状況に応じた活動方法で行うことができた。

■ 事業の成果

- ・おもちゃ作りでは、各年齢のクラスの中で、子どもの姿や活動に合わせた内容の物を作っていただいたことで、保育環境の充実につながった。また、必要なものをすぐに作ってくださったことで季節にあった遊びが広がり、喜んで繰り返し遊ぶ姿が見られた。布製で新たなものを作っていただき、衛生的で心地よい、温かみの感じられる保育環境になった。
- ・行事支援では、経験豊かな方から方法や知識を直接子どもたちや職員に教えていき、子どもたちの興味・関心につながった。また、顔見知りになったことで、子どもたちも安心して活動に参加することができ、地域の方とのふれあいの機会にもなった。
- ・絵本ボランティアの方がたくさんの絵本を読んでくださったことで、楽しいひとときを過ごすことができ、子どもたちの心の栄養がいっぱいになった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今年度も作っていただいた布製おもちゃと一緒に遊ぶ「ふれあいタイム」などは実施できなかった。園で作ったり、持ってきて来てくださったたりした機会に、交流ができるように考えていきたい。
- ・行事支援については、早めに日程を知らせたり、事前の打合せと当日のスケジュールの確認を行うことで、活動がスムーズに実施できている。今後も丁寧な対応を心がけたい。
- ・地域の方や保護者の方に引き続き、活動内容の発信をしたり、啓発を行ったりして、ボランティアに参加してもらえよう引き続き、働きかけていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■園長 ■副園長 ☐地域連携担当教職員 ■その他(主幹保育教諭)

【 カレークッキング 】



【 絵本タイム 】



報告書記入者(主幹保育教諭)

は・あ・とがだいじ～地域の方と心でつながる園教育を～

近江八幡市	活動名：老蘇こども園地域学校協働本部	老蘇こども園 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：18 人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ☐学校運営協議会 ☐地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 地域学校協働活動に関わる内容等

【栽培活動】

野菜や花の植え方や育て方を教えてもらっている。さつまいもは世話や収穫も一緒にしていただいた。

【絵本】

地域の絵本ボランティアの方が月1回絵本の読み語りをしてくださっている。今年度は安土学区きらきら人形劇団のボランティアの方々にも上演していただいた。

【安全教育】

保護者のボランティアの方がスクールガード研修を開催し、保護者へ交通安全の啓発活動を実施していただいた

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

【環境】

運動会に向けて地域の方や保護者会・職員が協力し合い、園庭整備を行った。

【クッキング活動】

食育教室でのクッキングや園で収穫した野菜を使っのカレー作りでは、ボランティアの方にも参加してもらい、保育者と共に子どもたちへの指導をしていただいた。



【花いっぱい運動】

■ 実施に当たっての工夫

・おいもパーティーに招待したり、ボランティアの方との交流会を実施し子どもたちからのプレゼントを渡したりして、感謝の気持ちを伝える中で園に対する理解を得られる機会を設けている。

・3月には卒園児の保護者に声をかけ、継続して繋がっていただけるようにボランティアの登録をお願いしている。

■ 事業の成果

・協働活動を行うことで子どもたちも地域の方々に親しみをもち、交流の場を楽しむに
する姿が見られる。交流の機会が園運営への理解にも繋がっているように感じる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・多方面に活躍されているボランティアの方が多く、依頼したときに先約がある場合があつたり、高齢化で行事の内容によって体力的に負担になったりしているようにも感じる。今後新たな人材確保に努める必要がある。



【地域の方による人形劇の上演】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■園長 ■副園長(地域連携担当教職員) ☐その他()

報告書記入者(副園長)

地域とつながり、愛情あふれる協働活動

近江八幡市	活動名：八幡小学校地域学校協働本部	八幡小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：148人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・地域連携のあり方 ・保護者会活動

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

ボランティア新規登録者が16名、登録者の合計は148名となった。

- ①環境整備…樹木剪定・枝葉処理、生け花、図書室整理、運動会テント設営・撤収、カーテン作り
- ②本の読み聞かせ…全学年毎週火曜日・朝10分間、布絵本(主任児童委員)
- ③学習支援…ミシン補助、ソーイング補助、八幡堀学習、ヴォーリズ学習、茶の湯体験、九九の聞き取り、英語ボランティア、学習補助
- ④児童引率補助…町たんけん、観光ボランティアガイドによる引率
- ⑤クラブ活動支援…琴、茶、生け花、着付け
- ⑥栽培活動支援…夏野菜作り、大根作り、さつまいも作り
- ⑦その他…バルマーク作業、雑巾づくり、作品バッグづくり
学生ボランティア(教員志望の学生)の積極的な受け入れ



【 前庭剪定作業 】



【 茶の湯体験 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・登録されている人全員になにかできることをしてもらえるように連絡している。
- ・来校時にできる限りコミュニケーションを取り、良好な関係を築き、次につなげている。

■ 事業の成果

- ・多くの方との触れ合いから、児童は愛情を感じ、地域とのつながりを深めている。来校されたボランティアの方に、自らあいさつする児童が増えた。
- ・学習支援やボランティア活動を通じて、教員が地域の方から直接お話を伺うことで、地域理解を深めることができた。
- ・地域で活躍されている様々な職種の方を招いてキャリア学習を行い、仕事の内容や働くことの意義について学ぶことで、児童は大人への憧れや将来への希望を持つことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・登録者の高齢化が進み、若い保護者の登録も増えたが、保護者以外の地域人材も活用していく必要がある。
- ・ボランティア登録者に一斉配信や個別のやり取り等で近江八幡市公式のSNSを利用し、連絡の効率化と地域学校協働活動推進員等の働き方改革にもつなげている。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会の開催前に事前協議を行って協議内容を絞り、活発な意見交換ができるようにしている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年主任)

報告書記入者(教頭)

地域とともに育てよう！「ふるさとを愛し瞳輝く島っ子」を 島小学校

近江八幡市 活動名：島小学校地域学校協働本部 島小学校 学校運営協議会：■有 □無

地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印

開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：360人

□学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援
 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり
 ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動
 ■郷土学習 □その他[]

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学 校 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行 政 ■その他(島学区まちづくり協議会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域で学ぶ、地域の人から学ぶことで郷土愛を育てる。
- ・読書活動の充実、家庭でのほたらきかけ。
- ・子どもが主体になれる防災体験について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)郷土学習、食育・環境学習、各教科等の学習支援

・ふるさと学習 環境学習

2年「まちたんけん」(大中見学「農園」「牛舎」など)「権座でおいも」(権座のお話・いも植え・いも掘り)

3年「ヨシ・菜の花学習」(ヨシちまき・ヨシの働きとくらし・ヨシ刈り・よしず・よし笛・菜種栽培、真珠等)

「まちたんけん」「地域の産業」(地域の特徴・砂防ダム見学・お店見学)

4年「ヨシ・菜の花学習」(菜種栽培・収穫・油を使ったクッキング 松明づくり・地域伝統の祭りと技を学ぶ)
 「大中学習」「八幡堀」(地域の歴史とくらし)

5年「ヨシ・菜の花学習」(松明奉納)「たんぼの学習」(SDGs)

5年1年「島小わくわく野鳥観察会」(船で渡合・権座・西の湖を巡り、探鳥)

・授業支援(昔遊び 昔体験 ミシンボランティア 米づくり等)

・エディブル・スクールヤード活動への支援 全学年(栽培 調理 食育 農業体験)

・行事支援 島アドベンチャー(全校白玉山ハイキング)・運動会「島っこ体育表会」支援

(2)見守り活動

・保護者による下校時の巡回/パトロール「見守り車パトロール」

・地域の方による登校、下校時の見守り「みまもり隊」

・地域の方、保護者による朝の見守り「行ってらっしゃい運動」



【 全校 島アドベンチャー】



【 5年1年 わくわく野鳥観察会 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・食を伴う活動についても調理の仕方やグループ分けなどを工夫し、消毒を徹底して実施した。
- ・人材育成の観点から、推進員やゲストティーチャー、地域ボランティアの方と担任が打合せをすることを大切に。その後のフォローなどを管理職がするようにした。
- ・地域の方に支援いただいた活動内容や学習の様子を、学校だよりやまちづくり協議会だより、学校ホームページなどで発信し、子どもの様子や感謝の気持ちを伝えるよう努めた。
- ・「防災学習」や「SDGs」の視点での連携について。

■ 事業の成果

- ・まちづくり協議会との連携で、新たな活動や子どもたちの学びにつながる人との出会いを作り出すことができた。
- ・地域の自然や伝統文化について地域の方とともに学ぶことで、大切に受け継いだ思いや生き方にふれることができた。
- ・エディブル・スクールヤードの取組を様々な教科や活動に結び付けることができた。
- ・地域の方の支援を受け本校ならではの学習を大切に、地域の方とのつながりを実感できた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・推進員や地域ボランティアは経験が豊富であり十分な支援をしていただけたが、担任が単元全体を見通し授業を組まなければ学習が深まらない。担任教員が地域に愛着をもち学習を進められるよう、教材研究、地域の方との交流を進めていきたい。
- ・学校運営協議会を活用し、新たな視点からの意見をいただくとともに教育活動の後押しをさらに願う。

■ その他(学校運営協議会との協働等) 島小ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/shima-es/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担任)

報告書記入者(教頭)

夢が輝き ふるさを尊ぶ 勇気と愛のある 元気な沖島子どもの育成

近江八幡市	活動名： 沖島地域学校協働本部	沖島小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：10人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ☐ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域(島民)とのふれあいの場・機会づくり
- ・あいさつができる子どもの育成
- ・特色ある教育活動について
- ・学校の存続に向けて

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・郷土料理体験(ふなずし作り)：地元漁師の方に指導していただいた(3回)。
- ・沖島オリエンテーリング：島内の店舗や施設、寺社を見学し、島民の方にインタビューをし、交流をした。
- ・沖島太鼓の演奏：全校児童で取り組み、学校行事や地域行事で披露している。
- ・島民運動会、島民文化祭：地域の方々と一緒に活動。“防災グッズリレー”、“防災じゃんけん”といった島民とともに「防災」について意識を高めるプログラムもある。
- ・消防艇・救急艇見学：島民・小学校の児童・職員の安全を守るための船の見学をし、実際に乗船したり、質問をしたりして、学んだ。



【 ふなずし作り 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・自治会、老人会、まちづくり協議会等と学校との協働の場を設定すること。
- ・コロナ禍を経て、スリム化できた行事の継続運営。
- ・地域産業や伝統文化にふれる機会を設定し、地域への愛着を育むこと。
- ・離島振興協議会と沖島町でできている人的つながり(県立大ほか)も生かしながら活動の充実をはかる。



【 救急艇見学 】

■ 事業の成果

- ・地域の方々とふれあいの機会が学習活動に盛り込まれたことで、地域の願いや思いを身近に感じ取れる児童の育成につながった。
- ・地域学校協働活動推進員と学校との連携により、地域財(人・場・もの)の適切な活用が進み、計画的に学習活動を実施できた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・島民の高齢化と島内の過疎化により、地域の魅力ある財産が消失してしまわないか心配。また、島内から通う児童も減少している。それらに伴い、学校との連携が希薄化しないよう学校から積極的にふれあいの場や機会を提案する。
- ・在籍児童数を確保するため、近江八幡市の通学区域弾力化制度等を利用してもらえる学校情報の発信をさらに工夫すること。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校 HP や学校だよりで地域および保護者に学校生活の様子を発信している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ☐地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(教頭)

～『学校と地域の両輪で』地域と協働した学びを～

近江八幡市	活動名:岡山小学校地域学校協働本部	岡山小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成22年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:180人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

岡山小学校 150 周年式典 および ふるさとフェスティバルについて

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・2年生では、学校菜園にて野菜栽培に取り組んだ。地域ボランティア「野菜の先生」の方々に、土作りや苗の植え方・世話の仕方等のコツを教してもらい、いろいろな野菜を育て収穫した。
- ・3年生では、ふるさと学習の一環として、地域の花火師を招いて特色ある産業について学習した。花火模型を使いながら分かりやすく教えていただいたり、安全に十分配慮したうえで、運動場での打ち上げ実演を行ってもらったりした。
- ・5年生では、地域ボランティア「裁縫お助け隊」の方々に、家庭科実習の裁縫の時間に実技指導の補助をしてもらった。個別の指導が行き届き、子どもたちの技能の習得につながった。



【 2年生 野菜栽培 】

■ 実施に当たった工夫

- ・できるだけ多くのボランティアの方々に協力いただけるよう、地域学校協働推進員を通じて綿密に打合せを行った。
- ・学校だよりを学区全戸に配布したり、学校ホームページで活動の様子を詳しく紹介したりしながら、支援活動等を随時地域に発信している。

■ 事業の成果

- ・地域ボランティアの方々の協力を得ながら、地域ならではの体験学習に取り組むことにより、地域のよさを知ったり、学んだりすることができ、ふるさとに愛着をもてる子どもの育成につなげることができた。
- ・地域ボランティアの方々に礼状を作成することで、社会性や感謝の心を育むことができた。
- ・教員や子どもたちが多くの地域の方々に支えられていることを実感して豊かな教育活動の推進につながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域学校協働推進員を通じて、地域ボランティアの方々と学校教育目標や学校経営の位置づけを共有しながら、学習活動の目的やめあてを明確にして打合せを行っていく必要がある。
- ・地域のよさや伝統を伝えていただく方の高齢化に伴い、支援していただくことが年々困難になってきている。地域の新しい人材を発掘し、伝統を引き継いでいただく支援者をいかに増やしていくかが課題である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・前述の「地域の新しい人材を発掘し、伝統を引き継いでいただく支援者をいかに増やしていくかが課題」に関わって、学校運営協議会や同窓会、地域の会合等において熟議をはかっているところである。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任)

報告書記入者(教頭)

ふるさとに誇りを持ち、夢に向かってのびる金田っこ

近江八幡市	活動名：金田学区地域学校協働本部	金田小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：70人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他〔伝統芸能鑑賞、防災学習〕			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 □学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- (1) 見守りや地域学習において、大人からの挨拶に力を入れることで、子どもの挨拶の意識付けをしていきたい。
- (2) 地域の施設見学やボランティアの協力について依頼し、活動をより充実させることができた。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 1年「生き物探検」「秋みつけ」「おいも栽培とクッキング」… 地域の自然や人々に触れ合う。
- (2) 2年「地域の自然に親しむ」… 地域の自然に触れ、環境を守る活動を学び、人々に学ぶ
- (3) 3年「ホタルを守る活動」「朝恋トマト作り」「地域の消防設備見学」… 地域を守る活動や地域の環境を守る活動について、地域の人々から学ぶ。
○ホタルが住む川を守る金剛寺町の取組や、浅小井町の朝恋トマト作りに学んだ。
○地域の火災予防の取組について学んだ。
- (4) 4年「福祉学習」「地域の防災学習」「寺子屋」… 住む人にやさしい地域づくりを考え、地域を守る人々と触れ合い学ぶ。
- (5) 5年「田んぼでの米作り」「環境学習」「裁縫に挑戦」… 地域の環境について考える。
- (6) 6年「裁縫名人になろう」「平和学習」… 地域の平和について考える。



【1年 おいもクッキング】

■ 実施に当たっての工夫

- ・講話だけでなく、本物・実物に触れたり体験したりできる場づくりに努め、発見や感動のある学習を目指した。
- ・担当学年の主任と地域学校協働活動推進員との連携をとり、打合せ時間を確保した。

■ 事業の成果

- ・地域に愛着と誇りをもって活動されている方々の話を聞いたり、仕事の様子を見学したりすることで、教室ではできない学習、体験ができた。
- ・金田学区にお住まいの講師、ボランティアに来ていただくことで、「人」「技術」「地域」がより身近に感じられるようになった。
- ・地域の安全を守る活動（スクールガード、地域の消防、地域の川の整備等）を日常的に目にしたり、体験したりする中で、防災や安全に対する意識の高まりが見られた。
- ・放課後子ども教室「寺子屋金田」では、コミュニティセンターを学習の場として、学力補充に加えてニュースポーツの体験、防災に関わる学習等も取り入れた工夫あるプログラムで、参加した児童にもその保護者にも大変好評だった。



【5年 ミシンでの製作】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・大規模校で、どの学年も人数が多い。（140名～160名）その分、講師・ボランティアの方も多数お願いする必要がある。人員確保や日程調整が難しい。
- ・講師・ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。新たな人材確保が喫緊の課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学期に一度集まっていたり、協議会を開催している。地域と学校が協働で活動した取組について紹介し、理解と協力を求めている。協議会では概ね好意的、建設的な意見が聞かれる。
- ・高齢化に伴う新たな講師・ボランティアの確保については、協議会でも懸案事項とされている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（教頭）

近江八幡市	活動名：桐原小学校地域学校協働本部	桐原小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：120人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・第1回(5月)… 学校経営管理計画の承認・今年度の活動計画について
- ・第2回(7月)… 子どもたちの様子について、子どもの居場所づくりについて
- ・第3回(11月)… 学習参観を踏まえた子どもたちの様子について
- ・第4回(2月予定)… 活動報告、学校評価に対しての方針案、来年度の活動について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・5・6年 家庭科学習ミシンボランティア

子どもたちの家庭科「6年エプロンを作ろう」「5年ナップザックを作ろう」の学習において、ミシンを扱う学習の支援を地域のボランティアの方に依頼した。ミシンに糸をかける、ミシン針をセットする等、子どもが一斉指導だけではどうしても戸惑ってしまう場面に、細かな支援をしていただいたおかげで、子ども一人ひとりが存分に達成感を味わう学習となった。

・4年 環境学習：生ごみプロジェクト

給食の残飯を堆肥化したものを、畑に肥料として入れ、栄養たっぷりの大根を育てる取り組みを行った。1学期はたい肥の作り方、2学期は大根の苗植えと育て方、3学期は収穫の仕方についてのお話をいただき、一緒に作業のお手伝いをしていただいた。

地域ボランティアの方々には年間通して、ご指導いただいた。地域ボランティアの方々に「師匠」と呼び、子どもたちと親交を深めることもできた。お世話になった方々を収穫感謝祭に招待し、1年間の感謝の気持ちを届けた。

・2年 お世話になっている地域の方のおはなし

スクールガード、地域学校協働活動推進員、センター長

・2年 九九ボランティア ・1年 昔遊び ・低学年 まち探検の交通安全引率

・全校 図書ボランティア(本の修繕、本棚の整理、掲示物づくり、お話し会)、木工パズル(月2回昼休み)

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校支援ボランティア(図書ボランティア、家庭科ミシンボランティア、手作り木工パズル等)の活動予定を示したボードを活用することで、教職員全体に活動時期や内容を周知するとともに計画的に進められるよう配慮した。また、地域全体に浸透するように、学校だよりやコミュニティセンターだよりに活動の様子を紹介するとともに、学校支援の輪を広げる取組を進めた。
- ・ボランティアの方々が日常的に学校に来ていただいていることから、子どもたちの様子を複数の目で観察することができ、安全な学校生活を送ることにつながっている。また、子どもたちの学習への励みの一つにもつながっている。

■ 事業の成果

- ・地域の方々が授業中や休み時間等を利用して、さまざまなメニューを用意して子どもたちと関わってくださっている。
- ・地域と学校を繋いだ体験的な活動の機会を多様な形で設定することができ、授業の内容がより充実したものになった。
- ・図書館の環境整備や、おはなし会の開催などを通して、本を身近に感じ、本に親しむ子どもたちが増えてきている。
- ・スクールガードの方々の登下校時の見守り活動により、子どもたちは安心して登下校できている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

校外学習や授業での支援活動において、ボランティアの存在は大変大きく、学校ボランティアとして定着してきているが、高齢化が進み、後継者が見つからず無理をいただいている面がある。活動を継続していくためにも、学校運営協議会での議論やまちづくり協議会・他の地域団体との連携を図り、新規募集を含めた組織的、継続的な仕組みの見直し・工夫が必要である。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(各担任)



【生ごみプロジェクト～師匠のお話～】



【生ごみプロジェクト～堆肥づくり～】

報告書記入者(教頭)

地域とともに体験学習！ボランティアさんは、できるときにできることを

近江八幡市	活動名：桐原東小学校地域学校協働本部	桐原東小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに ☒ 印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：150人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに☒印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校支援グループとしての活動から気づいた子どもたちの様子について
- ・地域や登下校中の子どもたちの様子や通学路の安全について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1) 校内での学習活動：地域学習や専門分野でのゲストティーチャー、家庭科のミシン実習補助
 - (2) 安全見守り活動：自転車での校外学習のルートづくりと付き添い、危険箇所の安全見守り
 - (3) 校外での体験学習：まち探検での施設案内と取組説明、白鳥川での観察活動の指導、たんぼのこ活動の補助
 - (4) 環境整備活動：図書室の掲示物作成や図書の修繕や貸し出し補助、校内樹木の剪定作業、昇降口の清掃、落ち葉の掃除
 - (5) 文化活動：朝読書の時間における読み聞かせ、生けこみ、木工パズル教室
- ※これらの活動を円滑に行うため、毎月、学校支援グループ代表者会(学校運営協議会を含む)の開催

■ 実施に当たっての工夫

- ・各学年の学習内容や時期を学校支援グループ代表者会等で早めに知らせることを意識することで計画的に実施し、より充実した活動になるようにしている。

■ 事業の成果

- ・地域ボランティアやゲストティーチャーと何度も交流することで、関係性が深まり、児童・学校・地域のあたたかな関係が構築されている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・持続的に取組を進めるうえでの人材確保が必要である。
- ・地域の方々の協力のもと、学校教育を進めていることを保護者に積極的に発信することが必要である。そこから人材確保につなげていきたい。
- ・児童が地域で活動する機会を設けることで、双方向の関わりを行っていく。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・従来から実施している学校支援グループ代表者会と学校運営協議会の持ち方を工夫し、学校や地域が同じ視点、それぞれの視点で児童の成長を目指すための協議を行う。
- ・すべての教職員が関わるとともに、学校運営協議会と日々の教育活動との関係性や仕組みを理解したうえで、教育活動に取り組む。



【 2年 町たんけん 】



【 5年 白鳥川学習発表会 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに☒印)

☒校長 ☒教頭 ☐地域連携担当教職員 ☒その他(教職員)

報告書記入者(教頭)

地域とともに育てる馬淵の子

近江八幡市	活動名：馬淵小学校地域学校協働本部	馬淵小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：26人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・読書活動の推進
(図書ボランティア、家庭読書の日の制定など)
※家庭教育支援の活動と兼ねて
- ・さらなる郷土学習(ふるさと学習)の充実

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・農業、栽培に関する活動…稲作体験(田植え、稲刈り)
- ・歴史、伝統文化に関する活動…地域の祭事、古墳・資料館見学、茶道体験
- ・平和学習に関する学習…戦争体験者の講話(馬淵への疎開、大阪大空襲)
- ・地域防災に関する学習…消防団についての講話(ポンプ車見学・放水体験)、防災(水害)学習、コミュニティセンター見学
- ・その他 絵本の読み聞かせ活動、白鳥川の除草作業(びわ湖の日の取組)



【 読書ボランティア読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもの主体的な力を育むために、「本物(実物)に触れる」体験が学習活動にあるよう、意識した。
- ・新たな地域人材の発掘やつながりづくりのために、今年も授業者と地域ボランティアとのマッチングや日時の調整について、推進員があらかじめ十分に授業者の要望を聞き取って仲立ちした。具体的な活動内容や支援方法などについて、授業者、推進員、支援者が事前の打合せを行って決定した。



【 地域歴史資料館見学 】

■ 事業の成果

- ・推進員の役割に対する教員の理解、事業についての地域への周知が進んだことにより、様々な分野で授業のねらいに応じた効果の高い支援が得られるようになった。推進員や地域ボランティアとの協働によって、教員の地域理解が深まり地域の素材を教材化する力が高まった。
- ・継続した活動を行うことによって、児童は顔馴染みとなった支援者の来校を楽しみにするようになった。支援者は児童への理解が深まって効果的な支援を行え、継続することにやりがいを感じるという好循環が生まれている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域との連携、協働の効果を高めるには、事前の授業者と地域ボランティアとの打合せが重要である。しかし、推進員の勤務できる時間が限られているため、調整が難しい。
- ・これまで参加していただいていたボランティアの方の年齢が高くなり、昨年までお願いしていた方が辞退されることが増えている。新たな地域人材の発掘が急務である。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☒その他(各担任)

報告書記入者(教頭)

未来のきたさと（喜多郷土）をつくる 子どもを育むコミュニティースクール

近江八幡市	活動名：北里地域学校協働本部	北里小学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：110人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・ボランティアの在り方について ・登下校時の児童の安全確保について
- ・「わたしたちのきたさと」作成について ・子どもの学力について ・ふるさと学習について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)地域の和菓子店と農場

北里小学校区に、2件の和菓子屋と2件の大きなファームがある。3年生の地域学習で、「地域で働く人々」として講師でお招きし、その工夫、取組や仕事への思いを伺い、児童の発表会に御招待した。給食との関連に気づきがあったり、放課後にも和菓子屋さんで児童が顔をのぞいたりするなど、児童にとって地域への愛着を高める取組となった。



【3年生 地域学習】

(2)子ども安全地区懇談会

北里学区青少年育成会が主催し、「地域で子どもを守るために」をテーマとして、民生委員や自治会、まちづくり協議会、駐在所、幼小中のPTAが一堂に会して子どもの安全について話し合う地区懇談会で、平成12年から続いている。駐在所から地域の現状、幼小中から各校園の様子を伝え、その後、各方面から意見をいただく。この懇談会は、あらゆる方面から貴重な意見を聞くことができ、北里学区民が一体となって子どもの安全について考える良い機会になっている。この懇談会で出た意見は学校に持ち帰り、学校運営に役立っている。

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働活動推進員が学校と和菓子店やファームとつなぎ合わせ、細かい打合せは担任が行った。児童がお話を聞くだけでなく、学んだことを伝える場を持つことで、ご協力いただいた皆さんも、地域の学び、他社の取組が児童の発表からわかったので、好評であった。
- ・子ども安全地区懇談会では保護者や学校だけでなく、青少年育成会の呼びかけのもと、地域の自治会担当者やスクールガードなど児童や園児、生徒に関係する方々と情報交換をすることができた。

■ 事業の成果

- ・事業開始から14年になる。本活動が年間計画の中に位置づけられていることにより、かなり定着している。毎年、実施時期、活動内容について、地域学校協働活動推進員と一緒に各学年の担任が見直しをすることにより、より精査しながら本事業が実施できている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・平成21年度の本事業を開始してから、同じ地域学校協働活動推進員が一人で地域と学校を繋ぐ役割を担ってきたが、今後は後継者の育成や選任に困難さがある。
- ・地域学校協働活動推進員が地域と学校をつなぐ重要な役割を担っており、学校の思いを地域に、地域の思いを学校に伝えることで双方向にメリットがあるような活動を実施するように心がけている。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

平成31年度からコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を立ち上げた。6年目になり、より実効的なコミュニティ・スクールのあり方を考え、協議会での協議内容も検討している。北里の地域を教材化するため、一昨年より「わたしたちのきたさと」作りに向けて話し合いを進めている。3年生担任に誰がなくても、毎年同じレベルの地域学習ができるように教材化作りを始めたが、昨年度は「地域を守る人々」、今年度は「北里地域のいわれ」というテーマで進めてきた。児童にとって豊かな情報となる教材づくりに努めている。今後も、地域の担い手として活躍できる子どもの育成を目指して、地域ぐるみの活動を考えていく。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭)

人との出会いを通して、武佐を愛し、未来のむさを担う人材子どもの育成

近江八幡市	活動名:武佐小学校地域学校協働本部	武佐小学校	学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 開始年度:平成21年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:73人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☐学校・園 ☒学校運営協議会 ☐地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・保護者と学校の連携を強くするための方策
- ・学校の教育活動を地域や保護者に周知するための方策
- ・地域や保護者の声を生かした学校行事のあり方
- ・児童の安全確保のために学校と地域が協力してできること



【 食肉産業の学習 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・地域の産業に携わる方々から学ぶ
武佐学区の伝統産業である食肉加工業や農業をはじめとして、様々な産業に携わる方々からお話を聞かせていただき、仕事に対する思いとともに、地域を愛する気持ちや未来を担う児童に期待することなどを話していただいた。
- ・海外の様々な文化から学ぶ
本校にも様々な国籍を持つ児童が在籍しているため、その保護者などから、海外の文化についてゲストティーチャーを招いてお話を聞かせていただいた。
- ・防災教育との連携
地域の交通安全協会委員に協力いただき、JAF交通安全教室と近江八幡警察署交通安全教室を実施した。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアの人材確保については、地域学校協働活動推進員を中心に進めたが、より多くの人材を集めるため、学校運営協議会委員にも声掛けを依頼した。
- ・ゲストティーチャーを招いた学習や地域ボランティアの支援による体験活動の実施の際には、児童の主体性を生かした学習や体験活動になるように、入念に打合せを行った。



【 たけのこ掘り 】

■ 事業の成果

- ・ゲストティーチャーの経験談や思いを直接聞かせていただくことで、児童が自分の生活を振り返り、これからの生き方を考えるきっかけとなった。
- ・武佐学区の産業や人材の魅力を発見できただけでなく、ふるさとを大切に思う心を育むことができた。児童の自尊感情を醸成することや地域人材の生きがいづくりにつながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアの高齢化が年々進んでいる。保護者世代のボランティアの発掘と組織の拡大が必要である。
- ・保護者と学校のかかわりが希薄にありつつある。「できることをできるときに」をモットーにして、保護者の支援を得るための取組が必要である。
- ・地域や保護者にむけて、ボランティアの活動や学校が必要とする支援を周知する方法を工夫する必要がある。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会の委員には地域学校協働活動推進員も含まれているので、学校が必要な支援は直接伝えることができている。また、武佐学区まちづくり協議会の事務局員も入っているため、地域住民への協力依頼もしやすい。
- ・今年度から、保護者代表にも学校運営協議会の委員として参画していただき、新たな視点を加えた熟議ができるようになった。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☐地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(教頭)

子どもを真ん中にした学校と家庭と地域の協働

近江八幡市	活動名：安土小学校地域学校協働本部	安土小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：221人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

各学年のふるさと学習の年間予定について共有し、どの活動にサポートが必要かを考え、「あづちっ子応援隊」としてボランティアを募集することを確認した。また、学校全体にかかわるボランティアについても募集をかけることを共有した。ボランティアについては、地域学校協働活動推進員が中心となって募集・調整する。

【募集したボランティア】 ふるさと学習サポート、図書部、校内活動部、地域学習部、環境部

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

【各学年のふるさと学習(地域学習)】

- 1年生 しぜんたんけん 昔の遊び体験
- 2年生 町たんけん コミセン見学 お店たんけん 大根調理
- 3年生 安土町たんけん 総合学習での見学 民生委員さんのお話
福祉体験学習 昔の暮らし学習
- 4年生 西の湖学習(ヨシ灯り作品作り、ヨシ粉を使った調理実習、
和船に乗って西の湖に行つて学ぶ環境学習、環境ポスターの掲示など)
- 5年生 米作り体験(米作りの一連の活動について学ぶ)
- 6年生 キャリア教育(看護師、防災士、本屋さんなど地域の方も含め、
いろんな職業に就いている方の話を聞いて自分の生き方を考える)



【 登校見守り(スクールガード) 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティア名簿を作成し、必要な人材を探しやすくしている。
- ・地域学校協働活動推進員と学校とが密に連携し、各学年との打合せを設定して、ボランティアによる学習サポートの体制をつくっている。
- ・ボランティアの募集、ボランティアとの連絡・調整などは、主に地域学校協働活動推進員が行う。
- ・読書ボランティア「によきによき」、あづちっ子応援隊図書部、図書担当教員、学校司書、地域学校協働活動推進員が日常的に情報交換し、子どもの読書活動推進を図っている。

■ 事業の成果

- ・ボランティアの協力のおかげで、地域の自然、人材、文化、特産等を生かした安土ならではのふるさと体験学習を深めることができた。そして、ふるさに愛着を持ち、ふるさを大切に思う子どもの育成につながっている。
- ・地域学校協働活動推進員が、担任とボランティア、それぞれと連携し橋渡しの役目を担うことで、必要な時に必要な人材の確保ができ、多くの学習の中でボランティアに協力していただきながら充実したふるさと学習をすすめていくことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域のよさや伝統の技などを伝えていただく方や見守りの方たちが高齢化し、今後支援者が減っていくことが考えられる。保護者などにボランティア登録を依頼し、新しい人材の発掘や登録をすすめていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・ボランティア登録のための人材発掘



【 朝読書 読み聞かせ 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭)

老蘇の自然・文化・人に支えられた老蘇っ子の「ふるさと学習」

近江八幡市	活動名：老蘇地域学校協働本部	老蘇小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・ふるさと学習をはじめとする学校教育活動、及び地域による学校支援について
- ・老蘇学区における福祉的課題に対し、SDGs 子ども見守り隊として、子どもたちが社会的な繋がりを果たすことについて

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 豊かな自然から学ぶ

- (全学年)・ピオトープでの体験活動 (2年)・たけのこ掘り
- (4年)・西の湖学習・ヨシ灯り作品作り (5年)・ニゴロブナの放流
- (特支)・畑でとれた夏野菜でピザパーティをしよう

(2) 歴史・伝統・文化から学ぶ

- (1年)・神社の見学 (2年)・神社の見学
- (3年)・昔の暮らしについての聞き取り
- (4年)・教村坊・杉原邸・奥石神社の見学・ふるさとの偉人についての聞き取り
- (5年)・シーサー作り・伝統料理作り
- (6年)・茶道体験・和太鼓体験・信長時代の文化・演奏会・安土城考古博物館

(3) 地域の働く人から学ぶ

- (2年)・野菜の栽培・ハチミツ採取体験・まち探検・郵便局の見学 (3年)・小売店への見学・まち探検・営農 農家の見学
- (4年)・防災学習・ごみ処理についての学習 (5年)・自動車部品工場見学・JA 営農見学
- (6年)・コミセンの役割 (全校)・登下校の見守り・絵本の読み聞かせ・芝生管理委員会



【たけのこ掘り】

■ 実施に当たっての工夫

- ・教科の学習や領域とも関連付けながら活動を進められるように、カリキュラムを構成している。
- ・以前から引き続き行われている活動が多いが、活動の意義やねらいを明確にしてきた。
- ・活動の様子を「地域支援だより」「学校だより」やホームページ上で発信し、指導者や協力者にお礼の気持ちを伝えるとともに、地域保護者に対して、活動内容や活動意図への理解が進むようにしている。

■ 事業の成果

- ・自然や歴史、文化、人などについて知ることで、「老蘇」のよさを再発見し、自分にも愛情と誇りがもてるようになった。
- ・多くの人と出会い、触れ合い、様々な体験をすることで、いろいろな考え方、生き方に出会い、将来の夢などについて考える機会が増え、夢や展望をもつ児童が増えた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ふるさと学習を通して「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現するためには、課題作りの段階で個々の課題意識を高め、児童の主体性を生かす工夫が必要であり、協働による課題解決の場を設定し、自らの言葉で表現する力を付けられるようにしていく。
- ・子どもの活動が単発で終わらず、効果的に実施する必要がある。
- ・快く受け入れてくださる地域の方や事業者の方も多く、今後も協働活動の維持、また精選、拡大を検討していく。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・地域の文化、歴史、人材など地域の思いを反映した教育ができ、学校が要望する支援を地域からスムーズに受けられる。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(教務主任・各担任)

報告書記入者(教頭)

「地域が学校づくりに参画する学校」をめざして

近江八幡市	活動名： 八幡中学校地域学校協働本部	八幡中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：50人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☒ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☐地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・令和6年度学校経営方針
- ・地域学校協働本部事業の目的と事業内容
- ・登下校中の交通安全
- ・全国学力・学習状況調査の結果
- ・学校評価の結果
- ・サポート人材の発掘について



【 生徒企画のサミット後 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- 1年：被服実習支援、着付け実習支援、書道実習支援、
- 2年：水泳実習支援、職場体験、書道実習支援
- 3年：保育実習
- 全学年：八中サミット、図書館司書支援、美術部支援、文化祭展示に必要な材料の斡旋
- 太鼓部：地域行事での公演活動

■ 実施に当たっての工夫

- ・活動内容の見直しと、コミュニティ通貨アプリを使って新規登録者の開拓等を行った。
- ・持続可能な取組となるように、スクールサポーターの皆さんの都合が合うように活動時間を設定した。
- ・地域学校協働活動推進員との連携を図り、活動支援や行事への参加をスムーズに行えるようにした。

■ 事業の成果

- ・例年同様に学校運営協議会にも八中サミットに参加していただき、新しい生活様式も踏まえた今後の学校行事について地域・生徒・保護者・学校の四者が、学校の課題について熟議する機会となった。
- ・文化祭の展示を例年から大きく変更したことを受けて、必要としていたベニヤ板を地域学校協働活動推進員と学校運営協議会の協力のもと、安価で入手することができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

スクールサポーターの高年齢化が進み、登録者が減少傾向にあることが課題である。保護者への積極的な募集や学区の小学校のボランティアさんに中学校へも足を運んでいただく等の工夫を行い、登録者数のさらなる増加や小中連携の活性化につなげたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・ホームページにて随時活動について公開しています。
- 右のQRコードからご覧ください。



【 書道実習支援の様子 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

読書に親しむ環境づくり

近江八幡市	活動名：八幡東中学校地域学校協働本部	八幡東中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：10人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☐学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域人材の発掘について
- ・読み聞かせボランティアの活動について
- ・昼休みの学校図書館の見守り活動について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・近江八幡市教育大綱にある読書活動の推進と読書活動の充実
- ・学校司書、地域コーディネーター、ボランティアなどが連携した活動
- ・図書ボランティアによる書架の整理や学校図書館内の飾りつけ、掲示物作成、特設コーナーの設置、特別支援学級との交流
- ・八幡東読書ボランティアによる朝読書の時間の読み聞かせ
- ・ボランティアと生徒会図書委員会による昼休みの学校図書館開館



【八幡東読書ボランティアによる読み聞かせ】

■ 実施に当たっての工夫

- ・八幡東読書ボランティアの読み聞かせでは、様々なジャンルの本を紹介し、生徒の興味関心にあったものとなるようにした。また読み聞かせだけでなく、「地域の方の10分間道徳」というとらえで、しっかりと聞くように生徒を指導した。
- ・生徒が主体となって学校図書館運営を行えるよう生徒会図書委員や放送委員会と連携し、ボランティアだけの活動とならないように配慮した。
- ・学校行事に対する学校支援ボランティアでは、事前に参加者を把握するとともに、教職員と協働して取り組めるようにした。
- ・昼休みの学校図書館開館におけるボランティアでは、「参加できる方が参加できる時に」という合言葉のもと取り組み始めた。

■ 事業の成果

- ・学校図書館の雰囲気が非常によくなり、多くの生徒が利用するようになった。また、生徒は学校図書館の当番活動や本のPOPの制作、ビブリオバトル等、さまざまな活動に意欲的に取り組むことができた。
- ・学校図書館の充実に力を入れており、読書活動につながる取組を進め、落ち着いた学校づくりが進んでいる。また、読み聞かせを行い、落ち着いた雰囲気での1日のスタートが切れている。
- ・地域の方が多くのボランティア活動にかかわる方であるため、生徒との結びつきがより強くなっているように感じる。
- ・ボランティア任せにならないよう協働の視点を大切にして取り組み、教職員、生徒、地域の方に「私たちの学校」という意識が芽生えてきたように感じる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・図書ボランティアや教職員だけの取組ではなく、地域学校協働活動がそれぞれをつなぎ、より組織的に学校図書館運営が行えるようになった。しかし、定着までは至っていないことから定着を目指すとともに、学校図書館運営をより充実させたい。
- ・ボランティアや地域の方を多く集めることに難しさを感じる。しかし、昼休みの学校図書館開館の取組のようにまず始めてみるのが大切ととらえ、様々な取り組みをスタートさせていきたい。



【ボランティアと図書委員による学校図書館開館】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会で情報共有等を行い、それぞれに協働できることを検討している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(教頭)

地域とともに子供を育てる地域学校協働本部事業

近江八幡市	活動名：八幡西中学校地域学校協働本部	八幡西中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務0人) ボランティア登録数：30人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☐ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☒ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学 校 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行 政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・2度目となる学校運営協議会において、生徒会役員と「地域と学校の協働活動について」というテーマで熟議を行った。協議会委員と生徒会役員が2班に分かれて意見を交流したなかで、生徒会・学校運営協議会共同事業として地域行事への参加を決定した。
- ・3度目の学校運営協議会において、生徒会・学校運営協議会共同事業の具体的な内容について熟議を行った。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・本校は地域行事への生徒の参加を積極的に推進しているが、今年度は生徒会・学校運営協議会共同事業として生徒会役員と学校運営協議会が地元地域の文化祭(2カ所)に参加し、歌「花は咲く」を披露し、生徒会役員がボランティアとして運営に携わった。
- ・技術科の栽培分野の学習に桐原学区協働のまちづくり協議会の事業である「地域花いっぱい運動」の予算を活用し、プランターで花を育て、校区の幼稚園や小学校、コミュニティセンターや子どもセンターなどの施設へ届けることを行っている。
- ・キャリア教育(職場体験学習)において、地域学校協働活動推進員を含む学校運営協議会委員が積極的に受け入れ事業所の新規開拓を行った。
- ・部活動において、ソフトテニスや卓球、ラグビーなど数多くの部において、地域の方々からの支援を受けて活動する様子が見られた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域の文化祭で歌を披露するために、週1回ペースで練習を行った。その中で魅力あるステージにするための意見交流が生徒と協議会委員との間で活発になされた。

■ 事業の成果

- ・保護者や地域の学校への関心が高まり、理解と協力が増え、学校としての評価が高まった。
- ・生徒が地域で活躍する行事や機会を自治会や町づくり協議会で作っていただき、生徒が地域で活動することも増え、中学生の地域での活躍を評価して認めていただくことで自信を持つことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校の教育活動に関心を寄せている方はたくさんおられる。しかし、それを活かすためには、登録制にするなど、常に連絡を取れる状態にしておく必要がある。
- ・事業を実施するに当たり、教職員が地域に出向いて活動することが必要である。より活動の質を高めるためには、勤務時間外の平日夜間や休日に活動することが求められる。振替等を用いて多くの教職員が地域とかかわれる時間を生み出すことが今後の課題である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・推進員が学校運営協議会の副会長として活動しておられるので、積極的に橋渡しを行っていただいている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校 長 ☒教 頭 ☐地域連携担当教職員 ☒その他(主幹教諭)



【 桐原学区 文化祭にて 】



【 北里学区 文化福祉フェスティバルにて 】

報告書記入者(教頭)

ふるさとに愛着と誇りを ～地域の人材を活用したふるさと学習の推進～

近江八幡市	活動名：安土中学校地域学校協働本部	安土中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務0人) ボランティア登録数：67人 ☐ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☒ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☒ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

○学校の運営方針について ○生徒の学校生活等の様子について ○中学生の地域行事への参加について
 ○校内研究を含めた生徒の学力向上について ○ふるさと学習の推進について ○挨拶や通学マナーについて

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)地域との協働活動・環境整備活動

環境ボランティアと中学校PTAが協働で、中庭の植え込みの剪定等の環境整備を行った。また、環境ボランティアと環境委員の生徒およびボランティアとして参加した生徒たちが協働でアジサイの剪定を一緒に行った。さらに安土学区少年補導委員と一緒に学校のアプローチ道にパンジーの苗やチューリップの球根を植える環境整備を行った。

(2)地域行事への中学生の参画および学校行事への地域の方の参加

中学生を地域の行事(文化祭、信長まつり、福祉のつどい、商工会主催行事等)に参画させることで、地域の一員としての自覚を持ち、ふるさとを愛する心を育てる。また、地域と一緒に取り組む学校行事を計画し、協働で実施することで開かれた教育課程により、ふるさとへの誇りを活性化させる。

(3)読み聞かせ、図書館ボランティア

朝の会で、地域ボランティアによる読み聞かせを実施している。読み聞かせの回数を増やしてほしいという生徒の意見から、地域ボランティアによる読み聞かせをビデオに収録。朝全校生徒に向けて放送する機会を行った。民生児童委員会を中心としたボランティアに昼休みの図書室開館についても継続し依頼し、毎日開館できている。多くの生徒が利用し、地域の方と話す機会が多くなっている。



【 地域と全校生徒による音楽祭の様子 】



【 動画による読み聞かせの様子 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校と地域のニーズにあわせて取り組めるように地域学校協働活動推進員、学校運営協議会と連携して熟議し、具体化するようにしている。
- ・学校の教育課程に「ふるさと教育」として年間計画に位置づけることで、事前事後学習まで取り組み、ふるさとへの愛着・誇りが育つようになってきた。

■ 事業の成果

- ・地域の方に得意分野を活かした活動内容(講演やガイド、環境整備や図書館ボランティア等)だけでなく一緒に地域について考える場でも、地域に根ざした教育活動を深めることができた。
- ・中学生と地域の方との交流により、中学生の活動と地域の活動を発信・紹介しあえることで、協働の活動の場が広がってきた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・コロナ禍で縮小した地域ボランティアのスタッフを充実させるように図る。
- ・地域のニーズと学校のニーズを地域と生徒の語り合いの場(安中サミット)の設定を通じて継続し検討していく。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校づくりに関して、生徒会と学校運営協議会委員との間で意見交流会(安中サミット)年2回実施
- ・安土中学校 HP <https://www.fureai-cloud.jp/azuchi-jh>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☐校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(教頭)